

令和8年（2026年）7月3日	
所 属	こども青少年課
所属長	岡田 千夏
電 話	06-6423-9996

第9回 尼崎市学びと育ち研究所報告会 「データでひらく、こどもの未来」

尼崎市は、第9回尼崎市学びと育ち研究所報告会として、「データでひらく、こどもの未来」を開催します。

「尼崎市学びと育ち研究所」では、子ども一人ひとりの状況に応じ、実社会を主体的に生きていくために必要な力を伸ばしていけるよう、外部の研究者を招き、中長期的な効果測定を通じた科学的根拠（エビデンス）に基づく先進的研究を行っています。

報告会では、研究員による研究報告とともに、国立教育政策研究所 森田正信所長をお招きして、学びと育ち研究所 大竹文雄所長との対談講演を行います。

1 日時

令和8年8月25日（火）午後1時から午後3時40分まで

2 開催方法と一般参加申込

(1) 現地講演（場所：小田南生涯学習プラザ 3階 ホール）定員70人

(2) YouTube「尼崎市学びと育ち研究所」チャンネルでオンライン配信
後日、アーカイブを視聴することもできます。

URL：<https://youtube.com/live/2tXlEIfgFHs?feature=share>

(3) (1)(2)ともに参加申し込みを令和8年8月14日（金）まで受け付けしております。

URL：<https://b449c1ba.form.kintoneapp.com/public/aa98d7699f66169837f00d6cbd568e61647e3c2c7556bdb4c1038b56157cd583>

（後日、アーカイブ視聴のみの場合は参加申し込み不要です）



3 内容

(1) 研究報告

ア 大竹 文雄 所長（大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授）

「教育環境が学力・非認知能力に与える影響」

イ 安藤 道人 主席研究員（立教大学 経済学部 教授）

「子どもを対象とした行政・教育サービスの利用実態・政策効果の検証」

ウ 北野 幸子 主席研究員（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授）

「乳幼児期の社会情動的スキルの育ちと架け橋期教育」

エ 知念 渉 主席研究員（大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授）※

「尼崎市における「力のある学校」の探究——社会的条件を加味した学校効果の検証」

オ 西山 将広 主席研究員（神戸大学大学院 医学研究科 特命准教授）

「周産期から幼児期までの状況が発達や学力の向上に与える影響」

カ 濱島 淑恵 主席研究員（大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授）

「尼崎市におけるヤングケアラーの実態調査と課題解決に向けた手法の検討」

ク 中室 牧子 主席研究員（慶應義塾大学 総合政策部 教授）

藤澤 啓子 主席研究員（慶應義塾大学 文学部 教授）

「妊娠期からの家庭・教育・社会環境と子どもの学力・健康：保護的要因とリスク要因に関する包括的検討」

※ 知念主席研究員の研究は今年度開始であるため、研究計画について発表します。

(2) 対談講演

国の研究所と尼崎市の研究所のトップ対談を行います。研究所を有する尼崎市だから叶う機会です。研究という最先端の視点から次のテーマで対談します。

対談テーマ：「教育データは、こどもの未来をどう支えるか」

登壇者 ：国立教育政策研究所 森田正信所長（ゲスト）
 尼崎市学びと育ち研究所 大竹文雄所長

※ 当日、取材にお越しになられる報道関係者の方は、令和8年8月14日（金）までに担当課へご連絡ください。

以 上



第9回 尼崎市学びと育ち研究所報告会

データでひらく、こどもの未来

未来の教育へ一歩ずつ

子どもたちの学びや成長を科学的に探究する研究者が、その成果を発表します。この会が、教育現場の課題と研究の成果をつなぐ対話の第一歩となることを目指しています。

未来の教育を共に考えるきっかけを、ぜひ一緒に。

8/25(火)13:00～15:40



① 現地参加

小田南生涯学習プラザ②

②

WEB 参加

(尼崎市長洲中通1丁目6-10 JR尼崎駅より徒歩5分)

13:00 ～研究発表

14:50 ～対談

■「教育環境が学力・非認知能力に与える影響」

大竹 文雄 所長
(大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授)

■「子どもを対象とした行政・教育サービスの利用実態・政策効果の検証」

安藤 道人 主席研究員
(立教大学 経済学部 教授)

■「乳幼児期の社会情動的スキルの育ちと架け橋期教育」

北野 幸子 主席研究員
(神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授)

■「尼崎市における「力のある学校」の探究——社会的条件を加味した学校効果の検証」

知念 渉 主席研究員
(大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授)

■「周産期から幼児期までの状況が発達や学力の向上に与える影響」

西山 将広 主席研究員
(神戸大学大学院 医学研究科 特命准教授)

■「尼崎市におけるヤングケアラーの実態調査と課題解決に向けた手法の検討」

濱島 淑恵 主席研究員
(大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

■「妊娠期からの家庭・教育・社会環境と子どもの学力・健康：保護的要因とリスク要因に関する包括的検討」

中室 牧子 主席研究員
(慶應義塾大学 総合政策学部 教授)
藤澤 啓子 主席研究員
(慶應義塾大学 文学部 教授)

対談テーマ

「教育データは、こどもの未来をどう支えるか」

【ゲスト】



■国立教育政策研究所
所長 森田正信氏

■尼崎市学びと育ち研究所
所長 大竹文雄氏

【ゲストプロフィール】

文部科学省の要職（高等教育企画課長など）や京都大学の理事を歴任し、教育行政の専門家として 国の教育政策を支える調査研究を牽引しています。

参加費：無料

定員：70人

要申込：QRコードから⇒



参加申込

当日WEB配信